

2024年度 第1四半期決算 業績予想



2024年7月31日
日本軽金属ホールディングス株式会社

報告セグメントに関する記載方式の変更

事業グループ体制へ移行によりセグメント構成の一部を組替え

自動車部品事業(ALMO)を加工製品、関連事業へ集約、他一部部門・商品を組替え

セグメント	事業グループと構成する部門		主要会社・事業部門	24年度からの 主な変更内容
アルミナ・化成品、地金	化成品事業グループ	化成品部門	日軽金・化成品	炭素製品部門を加工製品、関連事業セグメントより組替え
		炭素製品部門	日本電極	
メタル事業グループ	二次合金部門	日軽エムシーアルミ		
板、押出製品	軽圧事業グループ	板部門	日軽金・板	
		押出部門	日軽金アクト	
		電子材料部門	日軽金・電極箔	
加工製品、関連事業	輸送機器事業グループ	—	日本フルハーフ	自動車部品事業を日軽金ALMOへ統合により、板、押出製品セグメントより組替え、集約
	自動車部品事業グループ	—	日軽金ALMO	
	エンジニアリング事業グループ	パネルシステム部門	日軽パネルシステム	
		景観エンジニアリング部門	日軽エンジニアリング	
インフラ事業グループ	日軽金・蒲原製造所、苫小牧製造所、物流		日軽金・蒲原、苫小牧、日軽物流	
箔、粉末製品	箔事業グループ	箔部門、パウダー・ペースト部門、日用品部門	東洋アルミニウム	—

目次

1. 2024年度 第1四半期決算
2. 2024年度 上期・通期業績予想

2024年度 第1四半期決算

第1四半期決算 – 前年同期比

増収・増益 アルミナ・化成品、地金と箔、粉末製品が前年同期を上回り、
板、押出製品は大きく改善

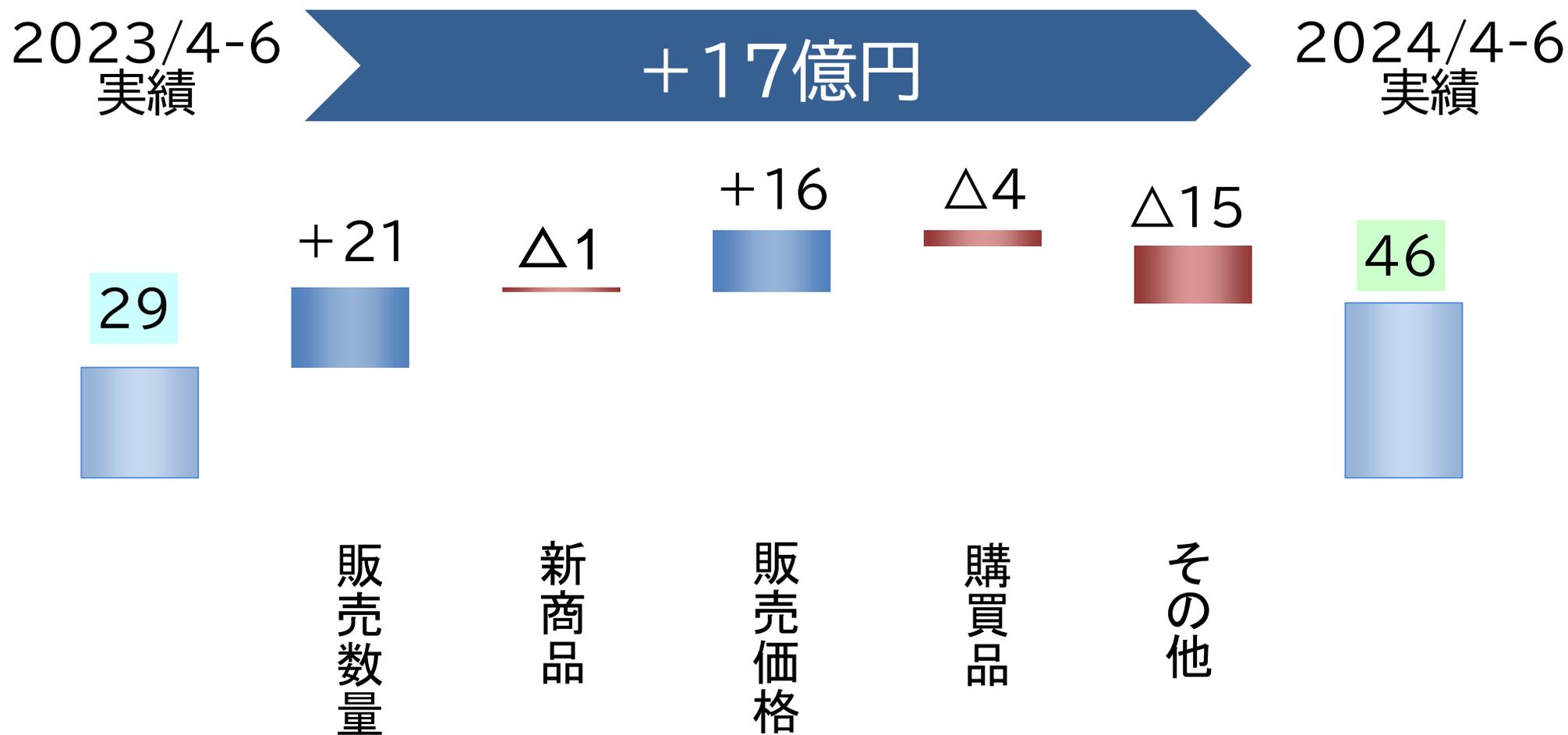
(億円)

	2023/4-6 実績	2024/4-6 実績	増減
売上高	1,225	1,286	+61 (+5.0%)
営業利益	20	42	+22 (+111.9%)
経常利益	29	46	+17 (+54.9%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12	21	+9 (+81.8%)

2024年度 第1四半期決算

経常利益変化要因 – 前年同期比

増収・増益 トラック架装関連での販売堅調と販売価格改定効果などに加え
アルミニウム地金市況上昇影響が利益押上げ



セグメント情報 – 前年同期比

以下、セグメントに関する記載方式の変更により、セグメント構成組替え後の数値、比較で記載

板、押出製品：トラック架装向けなどの販売回復に加え、アルミ市況上昇影響が寄与
加工関連、関連事業：トラック架装は引続き改善、自動車部品と断熱パネルが減販

(億円)

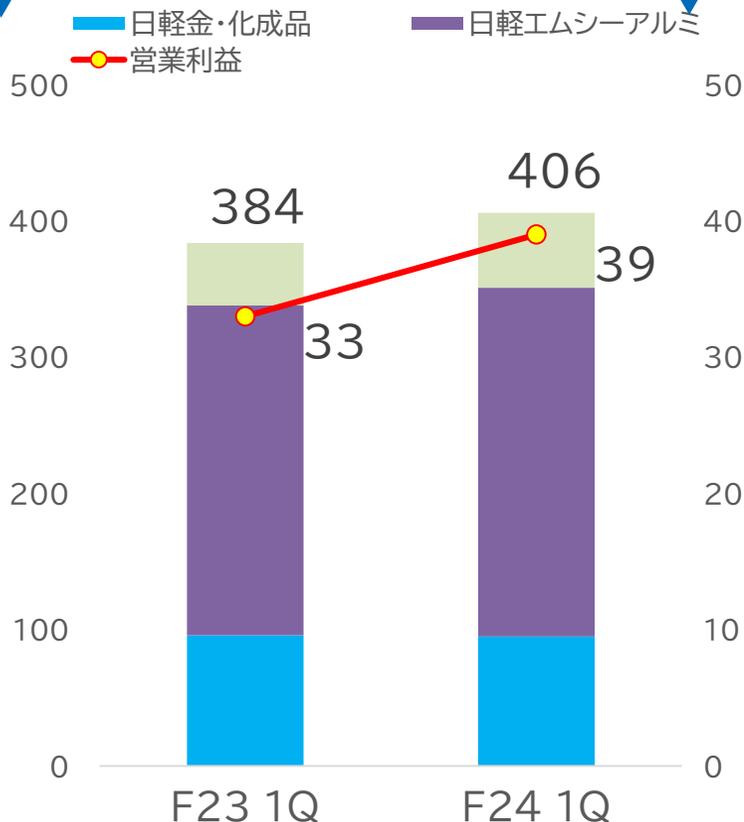
	売上高			営業利益		
	2023/4-6 実績	2024/4-6 実績	増減 前年同期比	2023/4-6 実績	2024/4-6 実績	増減 前年同期比
アルミ・化成品、 地金	384	406	+22 (+5.7%)	33	39	+6 (+17.5%)
板、押出製品	221	241	+20 (+9.3%)	△7	6	+13 (-)
加工製品、 関連事業	367	374	+7 (+1.8%)	△11	△11	±0
箔、粉末製品	253	265	+12 (+4.9%)	15	18	+3 (+18.4%)
管理・共通	—	—	—	△10	△10	±0
合計	1,225	1,286	+61 (+5.0%)	20	42	+22 (+111.9%)

アルミナ・化成品、地金

アルミナ・化成品は前年同期若干下回る収益に、二次合金は米国好調も国内自動車減産影響もあり減販、アルミ市況上昇影響により利益押上げ

売上高(億円)

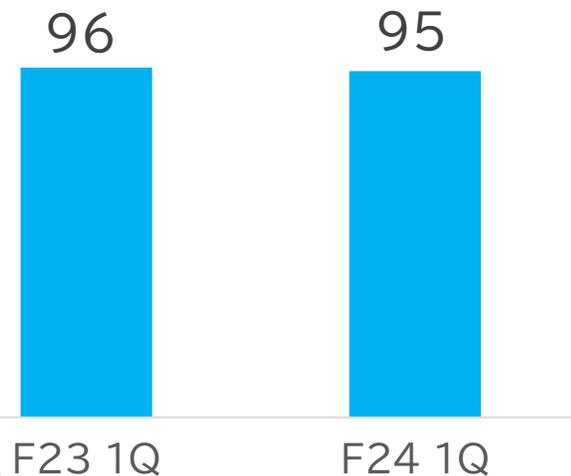
営業利益(億円)



化成品事業グループ
化成品部門(日軽金・化成品)

- アルミナは耐火物向けが前年同期並も凝集剤向け、放熱向けが弱含み
- 化学品は有機塩化物の販売鈍化が減収に影響

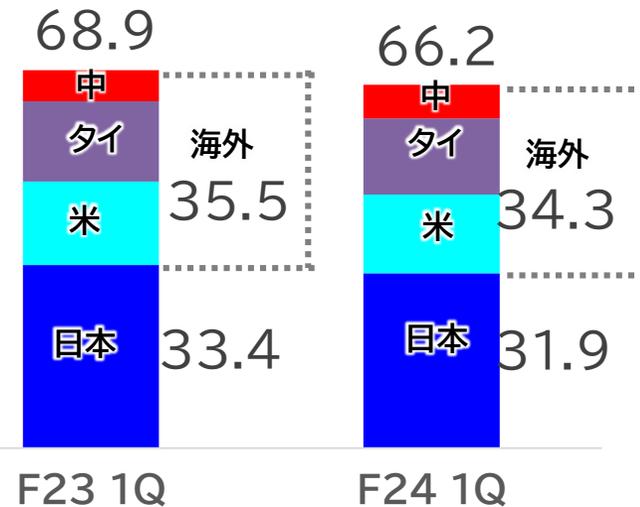
売上高
億円



メタル事業グループ
二次合金部門(日軽エムシーアルミ)

- 日本 前4Qからの国内自動車減産の継続が影響
- 海外 米国は需要環境好調継続、中国は市場低迷影響が継続

販売量
千t



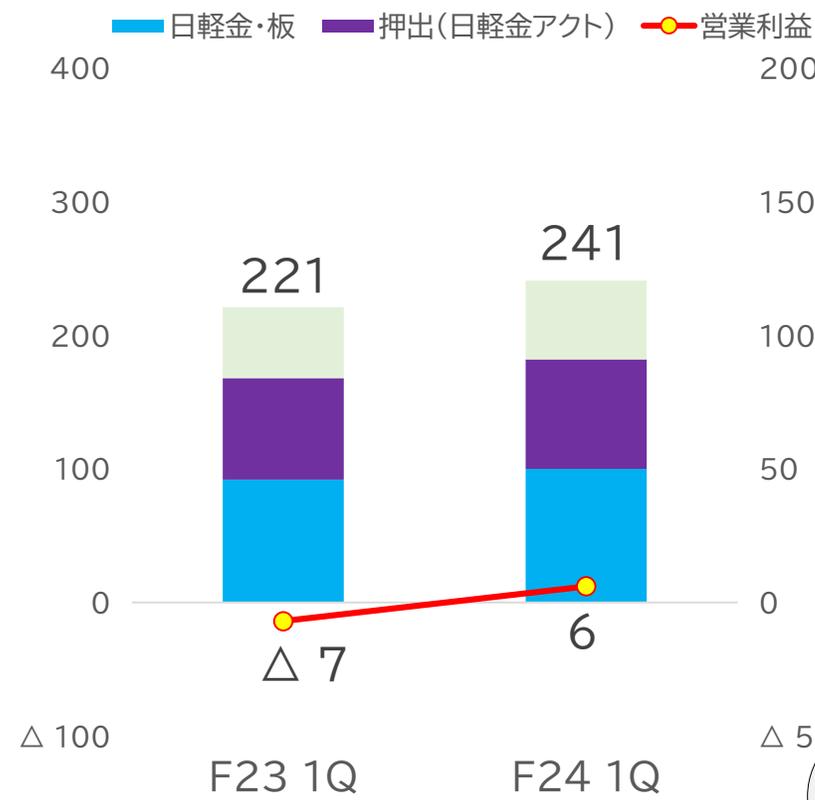
2024年度 第1四半期決算

板、押出製品

半導体製造装置向け関連は未だ調整局面、トラック架装向けの販売回復とアルミ市況
価格上昇影響が利益改善に寄与

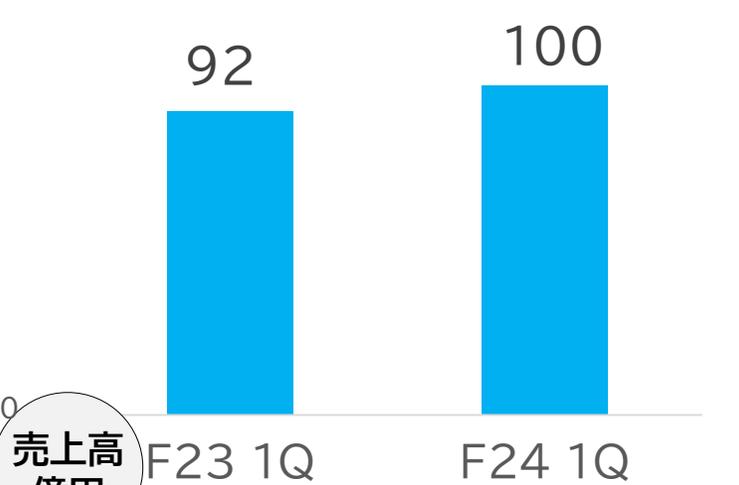
売上高(億円)

営業利益(億円)



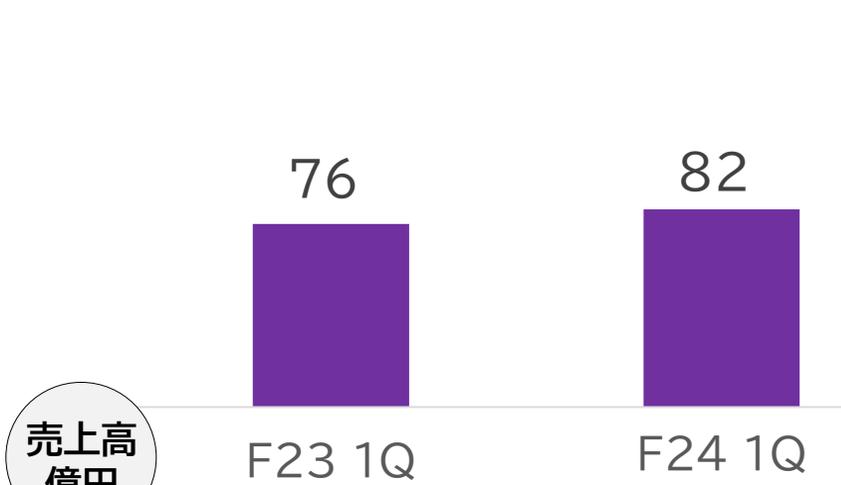
軽圧事業グループ
板部門(日軽金・板)

- 前年2Qからの半導体関連の需要調整は未だ継続も、前年同期比販売量増加に
- アルミニウム地金市況価格が上昇に転じた影響もあり増収・増益に



軽圧事業グループ
押出部門(日軽金アクト)

- トラック架装向けは前期からの販売回復以来堅調に推移
- 半導体製造装置向けは回復までに時間を要している状況



2024年度 第1四半期決算

加工製品、関連事業

トラック架装は販売回復継続と販価改定で収益改善、パネルシステムの冷凍・冷蔵分野向け大型物件減販、自動車部品の国内自動車減産・中国市場低迷継続で前年同期並み利益に

売上高(億円)

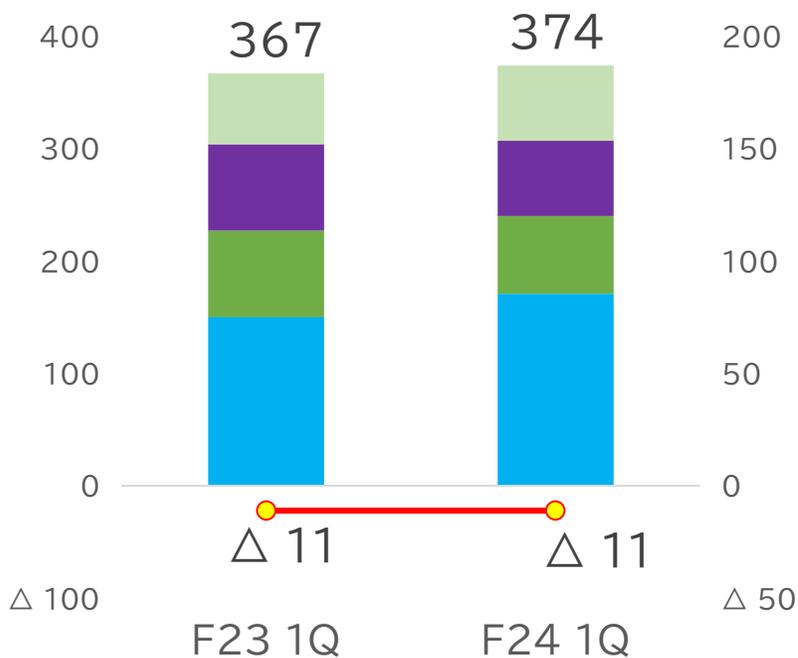
営業利益(億円)

日本フルハーフ

(自動車部品→)ALMO

日軽パネルシステム

営業利益



輸送機器事業グループ(日本フルハーフ)

- 前期からの販売回復以来、堅調な推移に加え、販売価格改定効果で、材料価格上昇影響有ったものの、前期同期より引き続き収益改善

売上高
億円



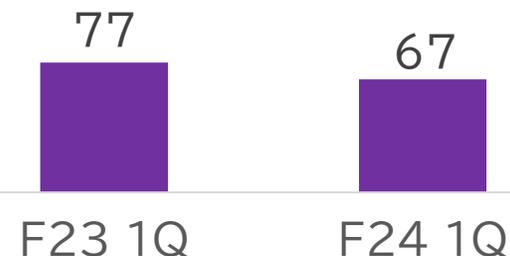
自動車部品事業グループ(日軽金ALMO)

- 日本 前4Qより続く国内自動車減産影響を受けた販売状況
- 海外 中国は市場低迷の影響継続、米国は新工場の量産操業開始

エンジニアリング事業グループ パネルシステム部門(日軽パネルシステム)

- 冷凍・冷蔵分野は工期・計画見直し等で食品工場・低温流通倉庫などで大型物件の販売が減少
- クリーンルーム分野は半導体関連メーカー向け需要継続で販売堅調

売上高
億円

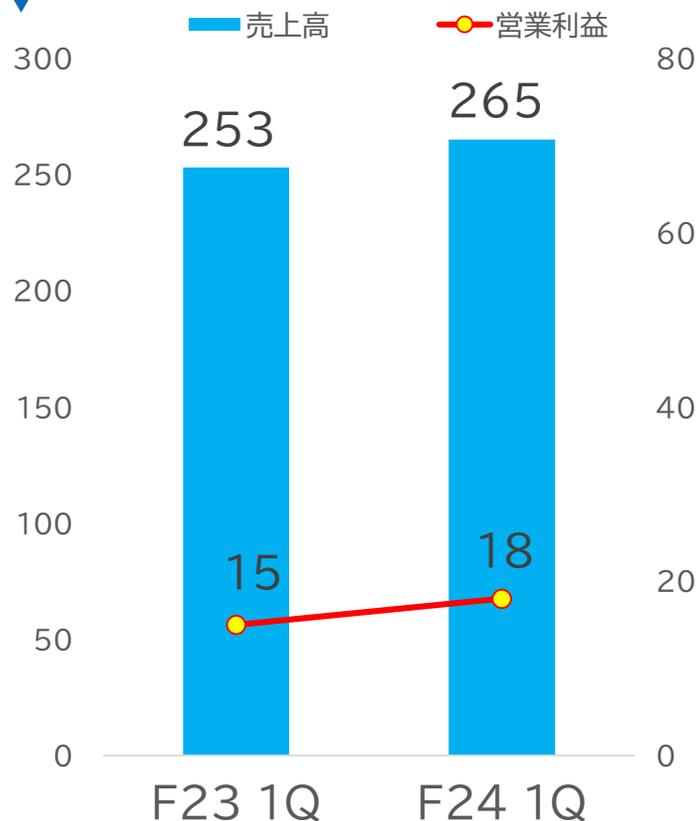


箔、粉末製品

医薬包材向け加工箔堅調、放熱用途電子材アルミパウダーで前1Q販売上回り、自動車塗料向けペースト 国内・海外ともに前年同期並確保で、前年同期上回る売上・利益に

売上高(億円)

営業利益(億円)



箔事業グループ(東洋アルミニウム) 箔部門

- リチウムイオン電池外装用箔は車載用で在庫調整局面が継続
- 医薬包材向け加工箔販売は堅調に推移

パウダー・ペースト部門

- 放熱用途の電子材アルミパウダー・窒化アルミは前年同期上回る販売に
- 自動車塗料向けペーストの国内販売は国内・海外ともに前年同期並の販売

日用品部門

- コンシューマー向けはクリーンキッチン用品で前年同期を下回る販売に
- パッケージ用品は冷凍食品向けが引き続き好調

目次

1. 2024年度 第1四半期決算
2. 2024年度 上期・通期業績予想

2024年度 上期・通期業績予想

上期業績予想 – 5月公表予想比

上期の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益が5月公表予想を上回る見込みとなり、上方修正

(億円)

	23年度上期 実績	24年度上期 5月公表予想	24年度上期 今回予想	増減 5月公表予想比
売上高	2,505	2,600	2,600	±0
営業利益	57	55	80	+25 (+45.5%)
経常利益	67	50	80	+30 (+60.0%)
親会社株主に帰属する 中間純利益	21	25	50	+25 (+100.0%)

2024年度 上期・通期業績予想

上期セグメント情報 – 5月公表予想比

板、押出製品とトラック架装は1Qに続き回復基調、アルミナ・化成品、地金は堅調に推移、自動車関連は中国・国内自動車減産回復見通しで不透明感継続

(億円)

	売上高			営業利益		
	24/上期 5月予想	24/上期 今回予想	増減 5月公表予想比	24/上期 5月予想	24/上期 今回予想	増減 5月公表予想比
アルミナ・化成品、 地金	840	850	+10 (+1.2%)	70	75	+5 (+7.1%)
板、押出製品	470	490	+20 (+4.3%)	5	15	+10 (+200.0%)
加工製品、 関連事業	760	730	△30 (△3.9%)	△20	△20	±0
箔、粉末製品	530	530	±0	20	30	+10 (+50.0%)
管理・共通	—	—	—	△20	△20	±0
合計	2,600	2,600	±0	55	80	+25 (+45.5%)

2024年度 上期・通期業績予想

通期業績予想

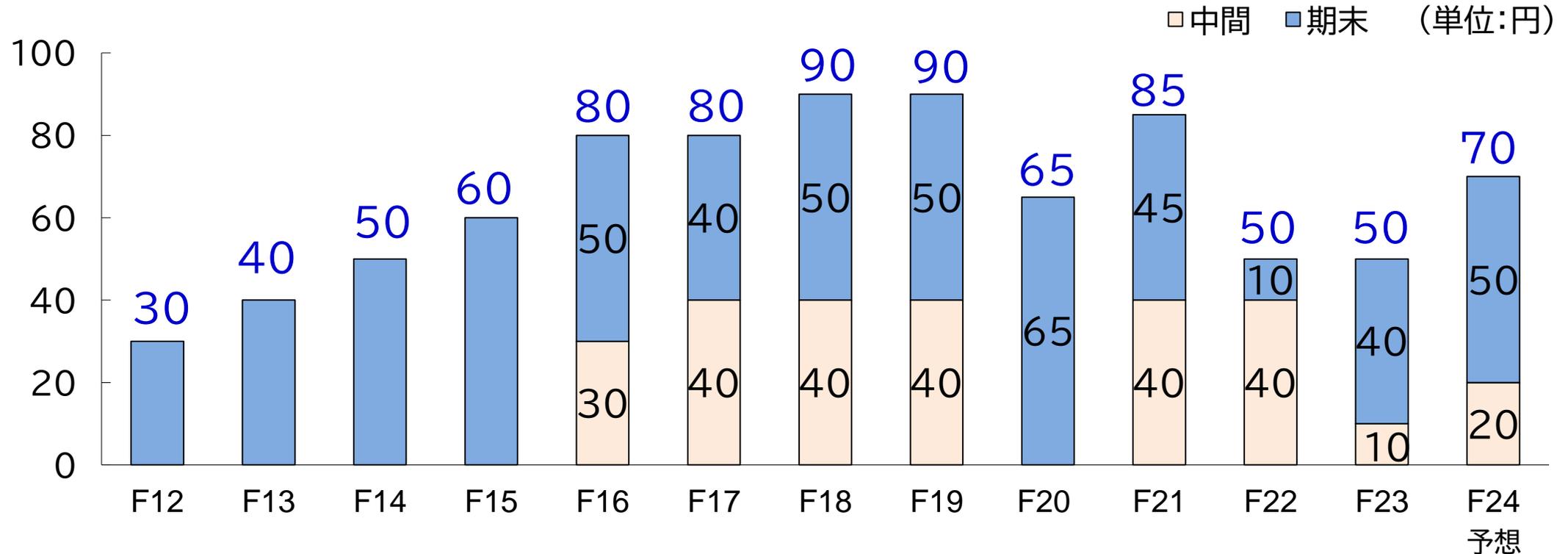
半導体関連で回復の兆しも、自動車関連の不透明感などを鑑み
2024/5/15公表予想を据え置き

(億円)

	2023年度 実績	2024年度 予想	増減
売上高	5,237	5,600	+363 (+6.9%)
営業利益	182	210	+28 (+15.5%)
経常利益	190	200	+10 (+5.1%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	90	130	+40 (+43.9%)
1株当たり配当金	50円	70円	+20円

2024年度 上期・通期業績予想 1株当たり配当金

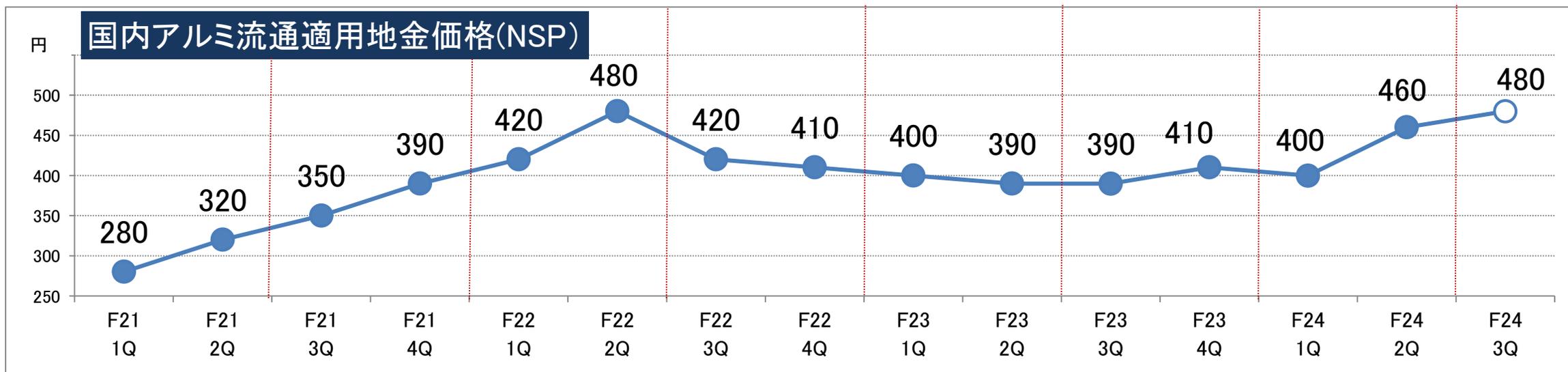
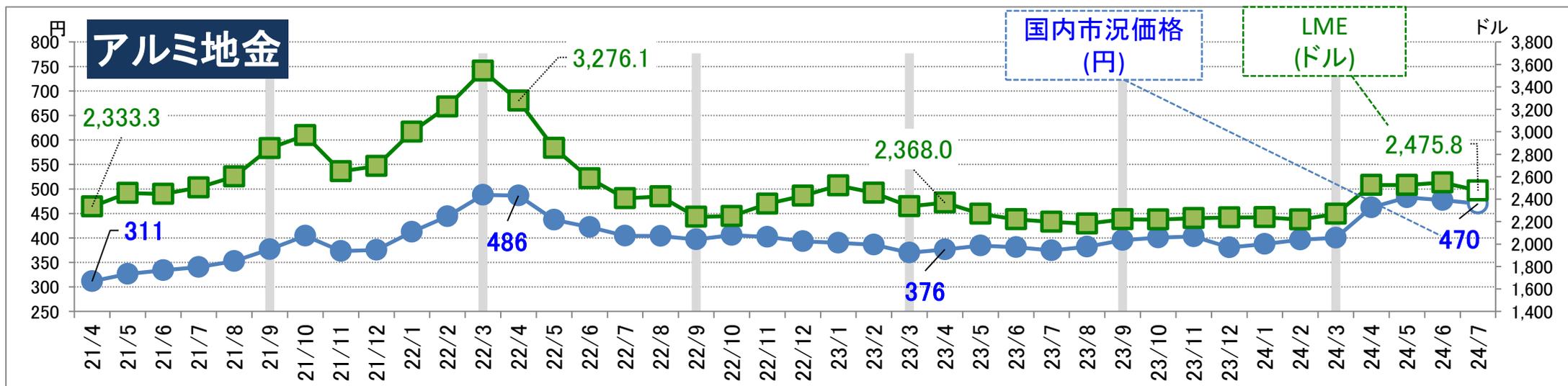
中間・期末ともに2024/5/15公表予想を据え置き



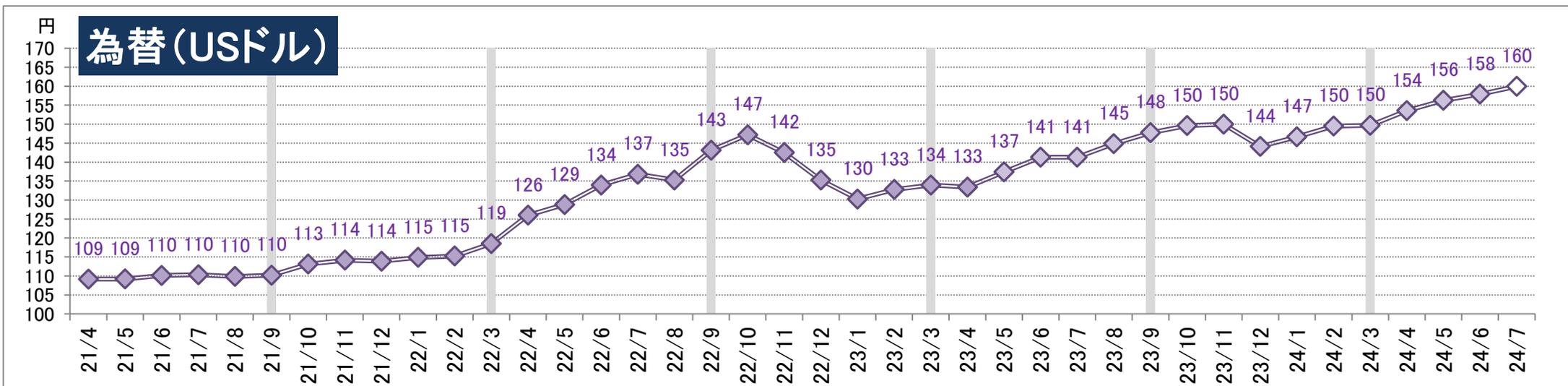
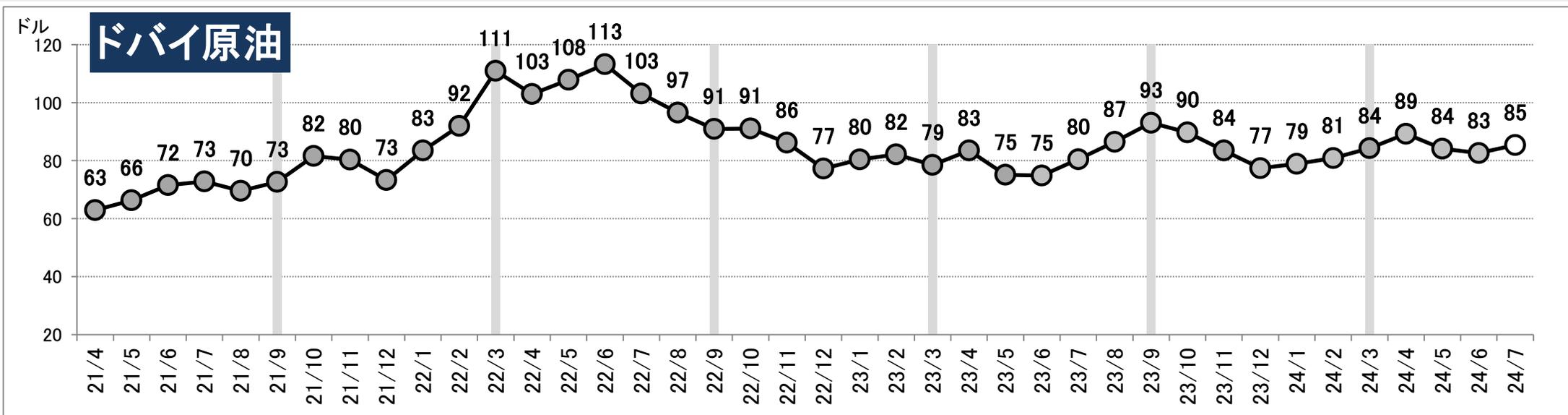
当社は2020年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しておりますので、2019年度(2020年3月期)以前の1株当たり配当額については、当該株式併合の影響を考慮した金額としております。

補足資料

アルミ地金価格推移



原油価格・為替推移



諸元と感応度

	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 予想	24/4-6 実績	経常利益への 感応度
アルミ地金 (円/kg)	408	389	380	474	10円/kg上昇した場合 △5億円/年
為替 (円/米ドル)	135	145	140	156	10円円高となった場合 △5億円/年
ドバイ原油 (米ドル/BBL)	93	82	95	85	10ドル/BBL上昇した場合 △8億円/年

上期セグメント情報 – 上期業績予想 5月公表予想比

(億円)

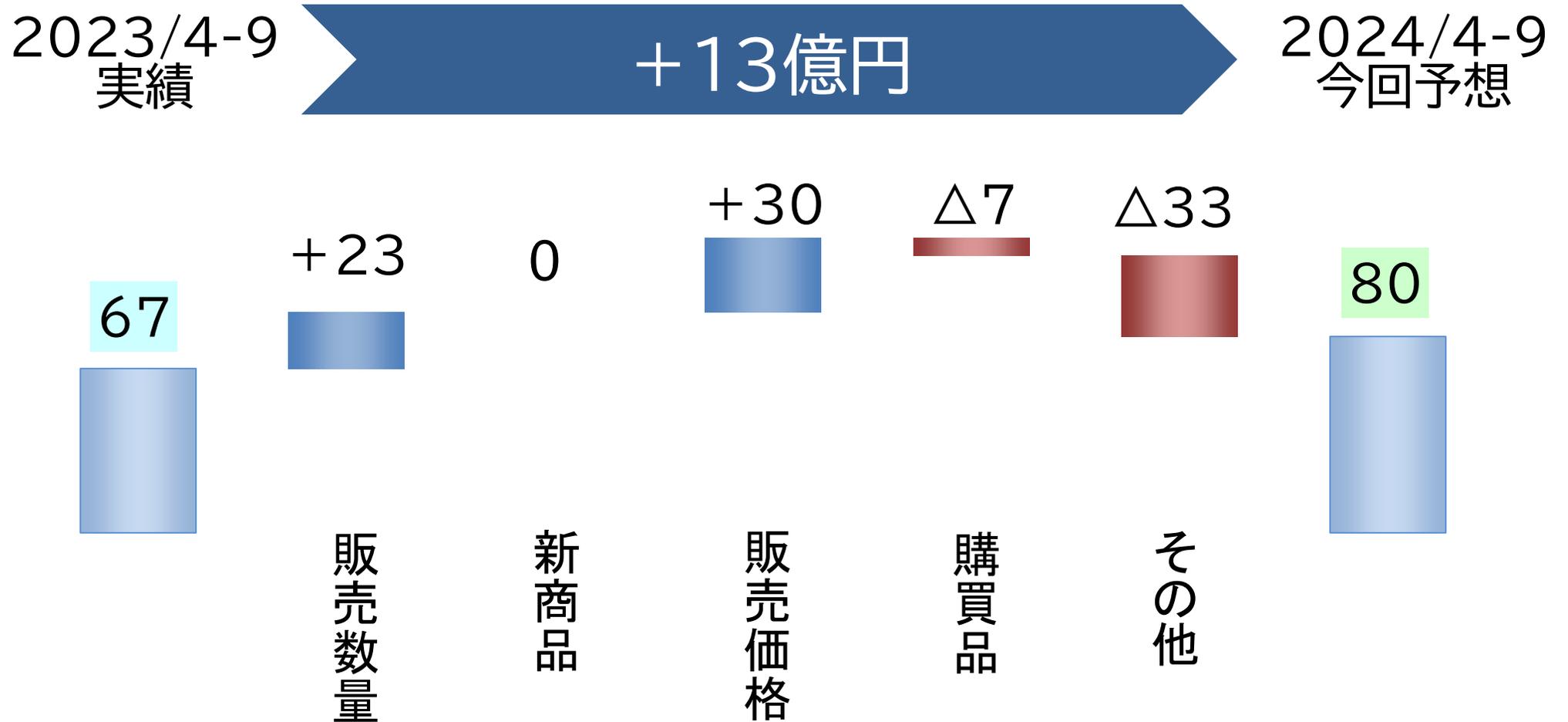
	売上高				営業利益			
	23/上期 実績	24/上期 5月予想	24/上期 今回予想	増減 5月公表予想比	23/上期 実績	24/上期 5月予想	24/上期 今回予想	増減 5月公表予想比
アルミ・化成品、 地 金	771	840	850	+10 (+1.2%)	61	70	75	+5 (+7.1%)
板、押出製品	452	470	490	+20 (+4.3%)	△3	5	15	+10 (+200.0%)
加工製品、 関連事業	770	760	730	△30 (△3.9%)	△12	△20	△20	±0
箔、粉末製品	512	530	530	±0	29	20	30	+10 (+50.0%)
管理・共通	—	—	—	—	△18	△20	△20	±0
合 計	2,505	2,600	2,600	±0	57	55	80	+25 (+45.5%)

通期セグメント情報 – 通期業績予想 前期比

(億円)

	売上高				営業利益			
	2023年度 実績	2024年度 5月予想	2024年度 今回予想	増減 前期比	2023年度 実績	2024年度 5月予想	2024年度 今回予想	増減 前期比
アルミ・化成品、 地金	1,558	1,700	1,700	+142 (+9.1%)	118	120	125	+7 (+5.9%)
板、押出製品	948	1,050	1,050	+102 (+10.8%)	23	30	50	+27 (+117.4%)
加工製品、 関連事業	1,678	1,770	1,760	+82 (+4.9%)	27	50	20	△7 (△25.9%)
箔、粉末製品	1,053	1,080	1,090	+37 (+3.5%)	56	50	55	△1 (△1.8%)
管理・共通	—	—	—	—	△42	△40	△40	+2
合計	5,237	5,600	5,600	+363 (+6.9%)	182	210	210	+28 (+15.5%)

上期経常利益変化要因 - 前年同期比



補足資料

製品販売量

	2023/4-6 実績	2024/4-6 実績	(千t) 増減
日軽エムシーアルミ(二次合金)	68.9	66.2	△2.7 (△4%)
国内	33.4	31.9	△1.5 (△4%)
海外	35.5	34.3	△1.2 (△3%)
日軽金・板(板製品)	14.0	14.9	+0.9 (+7%)
日軽金アクト(押出製品)	7.9	7.2	—

* 日軽金アクトの自動車関連は2023年度3Qより日軽金ALMOへ移管のため、2023年度3Qより除外

主要会社の業績

(億円)

	2023/4-6 実績			2024/4-6 実績		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属(単体) *	357	9	45	340	18	57
東洋アルミニウム(連結)	254	15	19	266	18	21
日軽エムシーアルミ(連結)	242	5	6	256	3	3
日本フルハーフ(連結)	150	△5	△5	171	0	0
日軽金アクト(連結) *	117	△9	△8	82	5	5
日軽パネルシステム(連結)	77	9	9	67	5	5
日軽金ALMO (連結) *	—	—	—	69	△8	△9

* 日本軽金属の素形材事業と熱交事業、日軽金アクトの自動車関連は、2023年度3Qより日軽金ALMOへ移管

販売価格改定実施状況

日本フルハーフ(2024年5月～)、日軽金・化成品(2024年6月～)で実施
(5/15開示資料再掲)

セグメント		価格改定対象	改定内容	開始時期	
板、押出製品	日軽金・板	全てのアルミニウム板製品	原燃料 サーチャージ	2023年 1月	押出製品も 一部で実施
加工製品、 関連事業	日本フルハーフ	バンボデー、トレーラ 等を含む全商品	現行価格の10～15% 値上げ	2023年 3月	
箔、粉末製品	東洋アルミニウム	樹脂・紙原料の家庭 用商品	20%以上	2023年 7月	
板、押出製品	日軽金・板	全てのアルミニウム 板製品	加工賃(ロールマージン 価格)20%程度値上げ	2024年 2月	押出製品も 同程度実施
加工製品、 関連事業	日本フルハーフ	バンボデー、トレーラ 等全製品、部品全般	20%値上げ(製品)、15 ～30%値上げ(部品)	2024年 5月(部品:8月)	
アルミナ・化成 品、地金	日軽金・化成品	水酸化アルミニウム、 アルミナ	現行価格の10%以上 値上げ	2024年 6月	

本資料についての注意事項

1. 本資料は2025年3月期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与える重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
3. 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。